

令和4年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】 ○自分の未来を自分でつかむ子どもの育成～子どもの自己肯定感と自己有用感を高める教育の推進～
 ○視点1「個別最適化された学び」と「協動的な学び」の両全を図り、「読み解く力」の育成を図る授業改善に努めること。
 ○視点2互いに支え合い、高め合い、自己有用感を構成する3要素(貢献・承認・存在感)を意識した集団づくりを実現すること。
 ○視点3校種間の円滑な連携を推進し、教職員の豊かな人間性、教育専門職としての指導力や資質の向上につなげること。

【学校 目標】 ○「故郷を愛し 人と関わり 自分を磨く」生徒の育成～米原の中心で米原中の存在感を示そう～
 視点1……自分を磨く生徒の育成 視点2……人と関わる生徒の育成 視点3……故郷を愛する生徒の育成

【現状と課題】 落ち着いた態度で授業にのぞみ、何事にも生徒の主体性や積極性がさらに向上するとよい。
 ○視点1 学びを実感できる授業づくり <自分を磨く>
 「主体的・対話的で深い学び」、「学び合い学習」の視点から、「読み解く力」の育成を図る授業改善に努める。
 ○視点2 学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり <人と関わる>
 互いに支え合い、高め合い、認め合える集団作りを実現する。
 ○視点3 子どものために一丸となって取り組む学校づくり <故郷を愛する>
 コミュニティスクールと地域学校協働活動を推進し、学校と地域が一体となって子どもを育てる。

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○「主体的・対話的で深い学び」、「学び合い学習」の視点から、「読み解く力」の育成を図る授業改善に努める。 ○本時のねらいや流れを明確にする。 ○振り返りを通して、やれたこと、わかったことを明確にし、次への展望を持たせる工夫。	・各教科の授業評価の平均値(学校評価:生徒アンケート)		
	・私は、「本時のねらい」と「授業の流れ」を示した授業を心がけている。(学校評価:職員アンケート)		

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○「考え、議論する」道徳の指導の充実。 ○いじめや差別的な言動のない学校作り。	・「道徳の時間は自分を振り返ることができている」(学校評価:生徒アンケート)		
	・生徒は、いじめはどんな理由があっても絶対にいけないと思っている(学校評価:職員アンケート)		

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○自主、自発的な生徒会活動の促進。 ○コミュニティスクールを推進し、学校と地域が一体となって子どもを育てるため、地域の人材等の活用を積極的に行う。	・「学校は家庭や地域との連携を大切にしている」(学校評価:保護者アンケート)		
	・「米原中の生徒会活動は、私たちの誇りである」(学校評価:生徒アンケート)		

<視点1の具体的取組> ONIE実践指定校として、新聞を活用した授業実践を行う。(10月～12月)
 ○家庭学習の充実と、個に応じたきめ細かな指導、助言を行う。(通年)
 ○MGK(米原学習教室)として、豊かな経験を持つ退職教員を活用した学力補充を進め、定期テスト直前対策学習会や入試直前対策講座によるフォローアップに努める。(8月～12月)
 <視点2・視点3の具体的取組> ○生徒会ラブプロジェクト(福祉ボランティア活動)の継続・発展に努め、積極的なボランティア活動の機会を、地域や社会に貢献する意識を醸成。(6月・7月)
 ○総合学習を軸に地域の方の協力のもと農園活動を行い、収穫祭などを開催する。(11月)

今年度の取組の成果と課題

--